

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)ミュージアムの事業の実施に関すること (2)ミュージアムに観覧及び利用の許可に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)施設等の維持管理に関すること (5)減免対象者の利用に関すること (6)その他の業務

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	－	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点			
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 平均値比(90%)=利用人数(延べ10,989人)÷12,157人 上記(2)適用	95%未満～85% 3点	・30年度 延べ人数 13,457人 ・元年度 延べ人数 15,541人 ・2年度 延べ人数 5,884人 ・3年度 延べ人数 11,758人(国際陶磁器フェスティバル開催年:共通券入館者数＝2,178人) ・4年度 延べ人数 12,555人 ・5年度 延べ人数 10,989人 ・令和5年度の入館者数は、前年度比88%であるが、これはモザイクタイルミュージアムとの共同企画展の影響によるもの。会期以外の月の入館者数は、概ね前年度を上回っている。 ・令和3年度が多いのは、国際陶磁器フェスティバル開催の影響によるもの。開催月以外では、令和5年度の入館者数が上回っている状況である。 ・令和5年度に比べて呈茶利用人数・訪日外国人数は令和4年度を大きく上回っている。特に、訪日外国人のお客様は年間230人を超え、コロナ禍前をも上回っている。	6点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	－	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	30	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点 ・企画展8回開催 「明治・西浦焼の世界」「中国陶磁 よみがえる山本コレクションー陶磁編」、「没後100年成瀬誠志とその周辺」、「令和5年度寄贈小泉蔵珍作品」「思秋期の心 多治見中学校3年生の茶碗2024」、「第3回全国やきもの甲子園入賞作品展」「やくならマグカップもパネル展」「明治・西浦焼の世界」	期待以上 14点	今ある環境(資源・環境)を最大限に活かし、唯一無二の博物館として、美濃焼の魅力の普及に努めている。併せて、リピーターを増やすような努力も随所にみられる。 ・中津川市出身の陶工成瀬誠志の功績を取り上げ、中津川市苗木遠山史料館と共同開催。中津川市にとっても郷土の偉人の価値について、見直すきっかけとなった(他市連携初) ・第3回全国やきもの甲子園入賞・入選作品展に関連し、やくならマグカップもパネル展を開催(初開催)。今まででは見かけない客層を増やし、SNS映えする写真スポットで宣伝効果を図る。 ・「中国陶磁 よみがえる山本コレクションー陶磁編」では、会期を前期・後期に分け大幅に展示替えを実施。関連イベントとして、二胡による中庭コンサート、七代加藤幸兵衛氏の講演、三彩茶碗での呈茶イベント、幸兵衛窯のショップ販売を実施。 ・常設展示においても定期的に作品の入れ替えを実施 ・学芸員による展示解説 年間105回 689人に実施	28点	
2	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	業者に清掃委託をしているほか、職員が清掃活動を行っている。	10点
		②保守・点検			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	自家用電気工作物管理の月例点検として月例点検年6回、年次点検年1回実施。空調機器設備保守点検を年4回実施。自動扉点検業務を年4回実施。不調確認時には建築住宅課や業者に連絡をし迅速な対応、確認を実施	
		③保安・警備			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	日中は、目視及び監視モニターによる警備、夜間は機械警備を委託している。消防用設備定期点検業務を年2回実施。	
		④小規模修繕			①ノートパソコン経年劣化による取替②女子トイレウォッシュレット取替工事 ③車検整備	適正(普通) 2点	指定管理者にて負担	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	敷地外周から館内までの導線を定期的に確認。特にバリアフリー用具は重点的に確認。	
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	キャビネットを活用し、整理方法を見直した。分野ごとに情報を周知する責任者を決め、ファイリングシステムを積極的に活用した(職員研修:OJTも実施)。	適正(普通) 2点	県・市・事業団など各組織、各施設からの受信文書を職員に周知。情報を共有するためのファイリングシステムを活用し、キャビネットを使用し保管することで誰でも文書が探せるようになっている。市のファイリングマニュアルを参考にファイリング研修を実施し、文書管理に活用している。	10点
		②環境への配慮			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	紙類を資源活用センターに持ち込み積極的にリサイクルすることで(計260kgのリサイクル実施)、ごみを削減している。対応可能な器具については、消費電力の削減のためにLEDの蛍光管に随時交換 夏場の消費電力削減のため、ミュージアムショップや受付側に遮光ガラスフィルムを設置 約20年使用している複合機をSDGsに取り組む過程から生まれた再生機に買い換え	
		③バリアフリー			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	車いす・ベビーカー・杖について、対象者に都度受付で声がけを実施	
		④備品管理			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・職員による定期的な確認・メンテナンスを実施 ・空調設備が必要な収蔵品を適切に分け管理	
		⑤個人情報保護			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・個人情報の記された紙類は、鍵付のキャビネットを使用し保管している。 ・個人情報を使用する際は施設長の管理・監督のもとで取り扱っている。	
		⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	適正に実施されている。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入【35,392,981】÷支出【35,960,031】＝98% 事業収入のうち、多治見市指定管理者緊急支援金¥862,945の支給あり	100%未満 3点	－	3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点 ・誰でもできるワークショップの実施 ・トイレの不快感対策 ・中庭の活用	期待以上 9点	・障害の有無、年齢に関係なく実施できるワークショップを開催 ・女性用トイレにセンサー式流水音発生器を設置 ・やくならマグカップもパネル展では、中庭に写真スポットを設置	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	適正に実施されている。	苦情なし・期待以上 5点	特になし
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点 ・ツアーの設定促進 ・旬を敏感にキャッチした取組 ・企画展とミュージアムショップとのコラボレーション ・他施設との積極的な連携	期待以上 14点	・展示解説、呈茶体験を組み込んだツアーを観光振興局や旅行会社と契約 ・加藤孝造氏逝去(4月)に伴い追悼展示替え、市無形文化財に指定(6月)された蔵珍窯の作品を多目的ギャラリーに展示、呈茶に安藤工氏(10月指定)の茶碗を追加 ・企画展に関連したグッズを販売し売上向上を図る ・近隣の土岐市、瑞浪市、可児市と7館連携のスタンプラリーを継続実施。また、「めぐるんたじみチケット」「グルメでやくもコレクトラリー」参加連携し相乗効果を図る	14点	

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、一部遅れ・不備あり(中程度): △2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	遅れや不備はない	遅れ・不備なし 減点なし	－	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり: 減点なし、対応等が期待以下(軽微): △1、対応等が期待以下(中程度): △2、対応等が期待以下(それ以下): △3	指示等ない	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	－	0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点
							全体的な評価 良好な管理がなされている。	極めて良好

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見
・様々な企画展やイベントを行っており、頑張りをを感じる。現在の展覧会は少し硬い印象があるため、よりポピュラーな展覧会を開催してはどうか。 ・やきもの甲子園を通じて若者とつながり、多治見で若者が焼き物を学び、追求することに未来を感じられるようにしてほしい。